

# 事例 7

倉庫・物流

## （ 契約社員から正規社員へ登用も積極的に取り組む ）

同社では契約社員として働く形態もあるが、本人が希望すれば、正規社員へ積極的に登用するようにしている。毎年、4月と9月に正規社員への職種変更届けを受け入れ、日頃の業務態度や面接によって、正規社員へ切り替えるかどうかを判断している。

昨年度の実績として、3名（35歳未満）が契約社員から正規社員へ切替えを行っている。

日頃の業務態度については、本社にいる現業部長自ら定期的に現場を見て周り、各作業者の働き具合を直接確認している。このことは、正規社員を希望している者にとっては、モチベーションアップにつながっている。



# 事例 8

卸売業

## アンケートや自己申告書で、社員の様子の把握に努めることで、社員の高い定着率を実現

卸売業 S社

設立:昭和29年 資本金:5,000万円 従業員数:約100名

企業データ

### 概要

S社は昭和29年に設立された塗料卸売業を中心とした会社である。

同社は、中途採用を中心に人材確保を行っており、中途採用であっても経験や専門知識の有無を問わないとしている。中途採用者の入社後の定着率を高める

ため、入社3ヶ月後のアンケートや、年2回の自己申告書を活用し、社員の様子を把握し、必要があれば早期に手を打つなどの工夫を行っている。そうした取り組みの結果、中途採用者の入社3年後の定着率は80～90%で推移している。